

果敢に、大胆に挑戦を続ける



豊岡市長 中 貝 宗 治

年 あいさつ

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにとって、今年が笑顔あふれる年になりますように。

昨年は、豊岡が「小さな世界都市」に向けて、着実な歩みを進めた一年でした。

4月、野外でコウノトリの放鳥三世が誕生しました。野生復帰における金字塔ともいえるべき出来事でした。5月には、平成27年開催予定の「第4回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム」の開催地が、山陰海岸ジオパークに決定しました。7月には、「円山川下流域・周辺水田」が国際的に重要な湿地として、ラムサール条約の登録湿地に認定されました。韓国、中国、台湾からは、コウノトリをめぐる豊岡の経験に学びたいとして、講演依頼が相次ぎ、豊岡への視察もひっきりなしでした。コウノトリ育む農法も好調でした。7月には23年産米は売り切れ、店頭から姿を消すという事態も起きました。NOMOBベースボールクラブの誘致も、豊岡のまちづくりの姿勢が評価されたことでした。

豊岡は突き抜けかけている、という実感をもっています。今年もまた①受け継がれてきた大切なものを守り、育てる②環境都市「豊岡エコバレー」を実現する③「小さな世界都市」市民を育てる④情報発信戦略を進める⑤交流基盤の整備を促進する―を柱に、「小さな世界都市」の実現に向けて全力で取り組ん

でまいります。

他方で、私たちの前には、過去最大と云っているほどの行財政上の危機が待ち受けています。平成27年度を最後に合併特例は徐々に減らされ、33年度からは完全になくなります。特例消滅による地方交付税の減少は年間約32億円と見込まれています。豊岡市の一般財源の約1割です。その減を仮に正規職員数だけでカバーしようとすると、約4割の人員を減らさなければならぬという、大変な数字です。その激震にどう備えるか。

仕事は人がするものです。人員が減り、予算も縮減される中で、いかに職員がモチベーションを高く維持し、「生産性」を落とすことなく働くか。市民との協働、議会との協働も不可欠です。圧倒的な革新・意識改革が求められています。今年、その方向性をしっかりと探り、見いだしてまいります。

「小さな世界都市」をいざれ支える子どもたちに、私は、こうあってほしいと願っています。①豊岡のことをよく知っている②だから豊岡が大好きだ③だから豊岡の一員としての役割をちゃんと果たす―こんなふうによく地域に根ざしながら④想像の翼、空想の翼、意識の翼、行動の翼は世界へ羽ばたいている。そして実は、豊岡の中に「世界」がある。

今年一年、豊岡の未来のためにお互い頑張らしましょう。良い年になりますように。

新 年頭のご



豊岡市議会議長 芝地 邦彦

皆さまの声をまちづくりへ

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申しあげます。

昨年を顧みますと、原子力発電所停止に伴う節電のさまざまな影響や長引く円高・ドル安傾向、デフレーション、近隣国との領土問題など、暗い話題もありましたが、ロンドンオリンピックでの史上最多のメダルラッシュやiPS細胞を開発した山中教授にノーベル賞が贈られるなど、明るい話題もありました。特に、本市出石町出身の井上香織選手が女子バレーボールで見事に銅メダルを獲得しました。パブリックビューイングで多くの市民が心一つにして、熱い声援を送っていただいたたまものだと思います。近くでは、衆議院選挙が行われ、国政も新たな体制でスタートしました。厳しい地方の経済を底上げする活気と元気が出る国策を、強力に推し進めていただきますたいと望むものです。

さて、本市は合併してから9年目となります。この間、ウエルストーク豊岡や豊岡駅前広場などの完成、現在建設中の北但ごみ処理施設の整備など、議会としても市当局へのチェック機能を働かせ、緊張関係を保ち、市民の皆さんの声を聴きながら、安心して住めるまちづくりを目指し、取り組んでいます。

昨年12月16日には、日高町山宮区で大規模太陽光発電所が竣工しました。市内外にイン

パクトのある事業であります。引き続き、市内2カ所で大規模太陽光発電事業の計画があり、環境都市を目指す本市にとって、今年はまだに再生可能エネルギー元年といえます。

また、7月末には、いよいよ新庁舎が完成します。7階建ての近代的な庁舎とその前には昭和2年に建設された現本庁舎が並びます。市の拠点として、防災機能も備え、利便性に優れた庁舎として市民の皆さんにご利用いただけます。現本庁舎2階には、建設当時にあつた議場が再整備されますので、ぜひ傍聴にもお越しいただきたいと思ひます。

もうすぐコウノトリがペアを組み、卵を生み、温める季節になります。この厳しい豊岡の自然の中で、コウノトリの子育ては完全に定着しています。空を見上げればコウノトリが悠然と舞っているのを見る機会も増えました。

われわれ市議会としても、自然やコウノトリとの共生の中、安全で安心してみんなが笑顔で暮らせる「コウノトリ悠然と舞うふるさと」を目指し前進を続け、さらに市民福祉の一層の向上とより豊かな住みよいまちづくりを目指します。そして次の世代へ元気な豊岡をバトンタッチできるように心新たに努力、まい進してまいる所存でございます。

どうか本年も災害のない、幸多い年でありますよう心からお祈り申しあげます。